

マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」  
**(1) 情報を収集する技能《収集・選択》**

地 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ！」をさす。  
 Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<Ⅰ. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<Ⅱ. 主題図> テーマがしぼられた地図	<Ⅲ. 略地図> 伝えたい事柄を大まかに あらわした地図
小学校 3年生	1	・学校の周りを、方位を確認しながら探検することができる。	・学校の周りを、今いる場所を地図で確かめながら探検することができる。Q	・学校の周りを、土地の広さやものの長さに注目して探検することができる。	・学校の周りを、土地の高さに注目して探検することができる。		・地図帳には、地域の全体像をあらわした地図、テーマがしぼられた地図、統計、図表などが載っていることを知る。地 p.17~20	・ふだんよく買い物している商店はどこか、聞き取り調査を行うことができる。	
	2	・正しい方位は、方位磁針を使って調べることができる。(理科との関連)地 p.11①	・学校の周りを、土地の使い方、建物の様子、交通の様子に注目して探検することができる。Q				・学校の周りにある建物や土地利用の様子について、探検などの調査によって情報を収集することができる。Q	・生産物の産地について、聞き取り調査を行うことができる。	
	3	・地域の生産や販売の仕事、方位や位置などを確かめながら見学・調査することができる。	・知りたい情報の記号に着目して、地図を地図帳から選択することができる。				・市町村の様子がわかる地図を収集することができる。	・主な生産物の産地についての情報が載っているページを、地図帳から見つけることができる。地 p.17~20	
	4						・交通網の広がりについて、知りたい地域が載っているページを地図帳から見つけることができる。地 p.42マ②	・消防設備の種類や設置場所を探検で確認したり、それらがわかる地図を収集したりすることができる。	
小学校 3~4年生	1							・私たちの暮らしを支える施設や関連機関の位置がわかる地図を、収集したり、地図帳から探したりすることができる。	
	2							・地域の観光マップなど、調べたいテーマに関わりのある地図を収集することができる。	
小学校 4年生	1			・知りたい情報が読み取れる縮尺の地図を、地図帳から選択することができる。地 p.20②			・県の様子がわかる地図を収集したり、地図帳から探したりすることができる。Q	・世の中には様々な表現の地図(行政区分図、地勢図、土地利用図など)があることを知る。地 p.17~20	
	2							・災害予測や避難経路などがわかるハザードマップを、収集することができる。Q	

マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」  
**(1) 情報を収集する技能《収集・選択》**

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ！」をさす。  
 Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかに あらわした地図
小学校 5年生	1						・日本の国土の様子について、知りたい地域が載っているページを地図帳から見つけることができる。地 p.17~20	・農産物・畜産物・水産物の主要な産地がわかる地図を、地図帳から探すことができる。地 p.103~104	
	2							・漁港や空港の位置がわかる地図を、地図帳から探すことができる。地 p.104	
	3							・工業地帯や工業地域の分布がわかる地図を、地図帳から探すことができる。地 p.105~106	
	4							・原料の生産地がわかる地図を収集したり、地図帳から探したりすることができる。地 p.103~107	
小学校 5~6年生	1								
小学校 6年生	1						・日本の歴史上の知りたいできごとが載っているページを、地図帳から見つけることができる。地 p.21~80	・遺跡や文化財などの位置がわかる地図を収集したり、地図帳から探したりすることができる。地 p.55~56, p.109~110, p.127	
	2						・日本とつながりの深い国が載っているページを、地図帳から見つけることができる。地 p.1~3, p.83~94, p.130~132		

マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」

(2) 情報を読み取る技能《読図》

地 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ！」をさす。

Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかにあらわした地図
小学校 3年生	1	・正しい方向をあらわすため、「左右」ではなく「方位」が使われていることを知る。 地 p.11①	・地図は、現実世界を真上から見て平面で示したものであることを知る。 地 Q p.7~8①②, p.10ト①②	・地図は、実際の距離を縮めて描かれていることを知る。 地 p.20②	・地図では土地の高さは、面の色で示されることを知る。 地 p.18②, p.40マ⑳		・地図から、地名や記号などを探して読み取ることができる。 地 p.1発見しよう, p.22マ①, p.24マ③, p.26マ⑤⑥, p.28マ⑧⑨, p.30マ⑪, p.33マ⑰, p.40マ⑳, p.45マ㉑, p.66マ④③, p.74マ④⑧, p.86マ⑨⑩, p.88マ⑫⑬, p.90マ⑮	・地図から、地域の生産物の出荷先や、商店の商品の仕入れ先など、他地域とのつながりを読み取ることができる。	
	2	・方位には、東西南北の4方位があることを知る。 地 p.11①	・地図は、現実世界を記号でわかりやすく置き換えたものであることを知る。 地 p.9~10①②, p.54マ㉒	・縮尺が変わると、地図にあらわされる詳細さが異なることを知る。 地 p.20②	・等高線は、同じ高さの場所を線で結ぶことで、高さを平面上にあらわす工夫であることを知る。 地 Q p.18②		・市の形を、地図から大まかに読み取ることができる。地	・地図から、地域の安全を守る施設の位置や、関係機関相互の協力関係を読み取ることができる。	
	3	・自分が立っている場所を中心(基準)に、方位を読み取ることができる。 地 p.11①	・その記号を「地図記号」と呼ぶことを知る。 地 p.13①	・縮尺が変わっても、共通して見られる要素があることを知る。 地 p.20②	・上空から見た高さの表現である等高線から、視点を転換して横から見た土地の起伏の様子を読み取ることができる。 地 p.18②		・市のおおよその高さや、それらの広がり、川が流れている方向を、地図の色から読み取ることができる。地		
	4	・教室の中での4方位を体感し、それぞれの方位にあるものを読み取ることができる。 地 p.11①	・地図には必ず「地図記号の説明」(凡例)があることを知る。 地 p.13①, p.17①		・同じ高さの等高線をたどることができる。 地 一般図		・市の土地利用やその広がりを、地図の色から読み取ることができる。地		
	5	・学校を中心に、4方位にあるものを読み取ることができる。 地 Q p.12②, ト①②	・「地図記号の説明」(凡例)と照らし合わせて、地図から地域の様子を読み取ることができる。 地 p.14ト①②, p.16ト①②, p.30マ⑬, p.40マ㉑, p.78マ⑤①		・おおよその陸の高さと海の深さを読み取ることができる。 地 p.40マ㉒, p.84マ⑤⑥		・市の交通網や、その行き先を、指でたどって読み取ることができる。 地 p.22マ②, p.24マ④ 地		
	6	・地図に示されたものの位置関係を、4方位を使って読み取ることができる。 地 Q デ p.12ト③, p.16ト①②, p.30マ⑫, p.54マ㉒③	・地図は現実にあるもの全部ではなく、必要な物だけを選択して示してあることを知る。 地 p.9~10①②		・川が流れている方向を、海との位置関係や地図の色を見て読み取ることができる。 地 p.95マ㉑		・市の主な産業を、農産物や工業製品の記号から読み取ることができる。 地 p.36マ㉒ 地		
	7	・地図は「北が上」が原則であることを知る。 地 p.12②	・地図記号は、建物や施設に関わるもの、土地利用に関わるもの、交通に関わるものなどに分類されることを知る。 地 p.13①				・市の昔と今の地図を比較して、土地利用や交通網、市の範囲などの移り変わりを読み取ることができる。地		
	8	・地図が「北が上」でない場合は、北をさすしるし(方位記号)が入っていることを知る。 地 p.12②	・国名・首都名・県名・県庁所在地名は赤字で示されるなど、色も記号の一部であることを知る。 地 p.17~18①②, p.40マ㉑						
	9		・様々な地図記号があることを、その由来とともに知る。 地 Q p.14②						
	10		・記号は、イメージがわかりやすい表現が用いられていることを知る。(水系には青を用いるなど)地 p.17①						



マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」

(2) 情報を読み取る技能《読図》

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ！」をさす。

Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかに あらわした地図
小学校 3年生	11		・記号は、行政区、建物の用途など現実には見えない物 を示すことにも用いられて いることを知る。地 p.17①						
	12		・地図の色は、土地の利用を あらわしている場合もある ことを知る。 地 p.15①, p.18②						
	13		・絵地図とは、方位や目印、 道の様子などを絵で描いた 地図であることを知る。 地 p.13①						
	14		・紙の地図には、さくいん記 号が掲載されていることを 知る。地 p.19①, p.28マ⑩, p.115マ⑨④						
	15		・さくいんをもとに、地名を 探すことができる。 地 p.19①, p.115マ⑨④ Q						
	16		・川をたどって、源流や河口 がどこかを、読み取ること ができる。地 p.95マ⑦⑤						
	17		・ある記号が多く集まってい るところを、地図から読み 取ることができる。 地 p.106マ⑥⑥						
小学校 3~4年生	1	・4方位をさらに細分した8 方位があることを知る。 地 p.11①		・距離のものさしがあること を知る。 地 p.20②, p.31マ⑩				・図形表現図を、図形が大きいところ、 集まっているところに着目して読み取 ることができる。地 p.103マ⑧④	
	2	・地図に示されたものの位置 関係を、8方位を使って読 み取ることができる。 地 Q デ p.30マ⑫		・地図上の距離を、距離のも のさしを使って読み取るこ とができる。地 Q p.20②, p.26マ⑦, p.54マ③③, p.62マ④②					
	3	・現実の世界で、8方位それ ぞれの方位にあるものを読 み取ることができる。		・地図を活用し、2箇所以上 の距離を比較して、距離の 違いを読み取ることができ る。地 デ p.31マ⑩					
小学校 4年生	1	・方位を用いて、県の位置 を読み取ることができる。 地 一般図	・地図の色や記号は、行政 区分や統計情報をあらわし ている場合もあることを知 る。地 p.40マ⑫⑤, p.108マ⑨⑨	・距離のものさしが、「地図 上の○cmが実際の◇m」 をあらわしていることを知 る。地 p.20②	・等高線と色分けで成り立 つ、等高段彩のしくみを 知る。地 Q p.18②	・県の地形を、海岸線の形や陸の高さ、 山の標高、川の分布などから読み取る ことができる。地 Q p.33~80	・産物の原料や製品の移動の流線図から、 移動の向きを読み取ることができ る。地 p.107①		
	2			・縮尺が変わると、地図上 の長さや広さのあらわし方 が変わることを知る。 地 p.20②	・等高線や等高段彩の色分 け、山の標高を見て、そ の場所の高さがどれくら いか、読み取ることがで きる。地 p.18②, p.40マ⑫④, p.57マ③③, p.84マ⑤⑤	・県の産業や、商品の輸送手段を、絵記 号や土地利用の色、交通機関の分布か ら読み取ることができる。 地 Q p.33~80, p.36マ⑫②②, p.42マ⑫⑤, p.78マ⑤③	・統計地図を凡例と照らし合わせて、地 域の特徴や分布の傾向を読み取るこ とができる。地 p.98マ⑦⑦		
	3			・等高段彩の地図から、平 野や盆地、山地などの地 形を読み取ることができ る。地 p.18②, p.95マ⑦④⑤	・47都道府県の特徴を、県名や位置、県 の形、特産物に着目して、読み取るこ とができる。地 Q p.4発見しよう, p.4~6, p.21~30, p.128マ⑨⑧⑨⑨	・浄水場から家庭に水が届けられる経路、 家庭で使った水が処理される経路を、 地図から読み取ることができる。			



マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」

(2) 情報を読み取る技能《読図》

地「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかにあらわした地図
小学校 4年生	4				・等高段彩の地図と断面図とを照らし合わせることができる。地 p.18②		・水源やダムから浄水場へ水が届けられる経路を、地図から読み取ることができる。地 p.49~50, p.71~73	・ハザードマップから、自然災害の危険が大きい場所や避難できる場所を読み取ることができる。地 p.102マ⑧⑨	
	5				・等高線の粗密は、斜面の傾斜の緩急をあらわしていることを知る。地 p.18②		・標高や地形を示した地図から、洪水などの自然災害が発生しやすい場所や地域を読み取ることができる。地 p.60②	・県内の昔と今の地図を比較して、地域の発展に尽くした先人の働きに関連したことがらについて、読み取ることができる。	
	6						・県内の地域ごとの自然環境や産業、人々の活動の特色を、地図から読み取ることができる。地 p.33~80		
小学校 5年生	1	・地球儀上で、テープを用いて方位を読み取る方法を知る。地 Q デ p.82②		・地球儀とテープを使って、世界の2点間のおおよその距離を読み取ることができる。地 Q デ p.82③	・等高段彩の地図から、0mより低い陸地を読み取ることができる。地 p.60マ③	・地球儀と世界地図の違いと、それぞれの特色を知る。地 p.81~82	・日本の主な山脈、平野、川、湖などの地形の分布を読み取ることができる。地 デ p.28マ⑨, p.57マ⑩	・主な山脈、平野、川、湖など、日本の地形の分布の概要を読み取ることができる。地 p.95マ⑦⑧	
	2						・日本の食料生産がさかんな地域について、絵記号の分布や地形・交通網との関わりなどを、地図から読み取ることができる。地 デ p.36マ⑫⑬, p.42マ⑭, p.45マ⑮, p.57マ⑯, p.74マ⑰, p.80マ⑱	・降水量や桜の開花時期の等値線図から、日本国内の地域差を読み取ることができる。地 p.98マ⑦	
	3						・日本の工業生産がさかんな地域について、絵記号の分布や交通網・地形との関わりなどを、地図から読み取ることができる。地 デ p.36マ⑫, p.66マ⑳, p.106マ㉑	・農産物・畜産物・水産物の主要な産地を、地図から読み取ることができる。地 p.80マ⑱, p.103マ㉒⑳, p.103㉓	
	4						・日本国内の農産物や原料、工業製品の輸送手段を、交通機関の分布から読み取ることができる。地 デ p.42マ⑰, p.61マ㉑	・漁港や空港の位置、水あげ量や便数の多さを、地図から読み取ることができる。地 p.103マ㉒, p.104㉓	
	5						・外国から日本へ資源を運ぶ船の主な経路を、地図から読み取ることができる。地 p.84マ⑳, p.86マ㉑	・工業地域や工業地帯の分布について、地図から読み取ることができる。地 p.105㉓, p.106マ㉑	
	6						・日本と外国が貿易でどのように関わりをもっているのか、地図上のイラストなどから読み取ることができる。地 p.93マ㉑	・日本にとっての主な原料や製品の貿易相手国を、流線図から読み取ることができる。地 p.107㉓	
	7							・貿易の流線図の太さから、移動量の多少を読み取ることができる。地 p.107㉓	
	8							・日本と世界がどのような交通網で結ばれているのか、地図から経路を読み取ることができる。地 p.83~86	
小学校 5~6年生	1							・階級区分図を、階級の上位に着目して読み取ることができる。地 p.108マ㉑	
小学校 6年生	1	・日本の近隣にある国々が、日本から見てどちらの方位に位置するか、読み取ることができる。地 p.31~32					・世界の主な国の位置や範囲、地形などを、地図や地球儀から読み取ることができる。地 デ p.86マ⑳, p.88マ㉓, p.90マ㉑, p.91マ㉑	・歴史上のできごとの位置や広がりを、地図から読み取ることができる。地 p.43㉒, p.56マ㉓, p.69~70, p.70マ㉑, p.110マ㉑	
	2						・日本と外国がどのように関わりをもっているのか、地図上のイラストなどから読み取ることができる。地 p.84マ㉑, p.90マ㉑	・歴史上のことがらに関わる地域間のつながりを、地図から読み取ることができる。地 p.56マ㉑	

マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」  
**(3) 情報をまとめる技能《作図・描図》**

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。  
 Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかに あらわした地図
小学校 3年生	1	・北を上にして、地図を描くことができる。	・地域の様子をあらわすために、適切な位置に地図記号をかきこむことができる。 Q	・およその「距離のものさし」を入れることができる。 Q	・示された線に沿って彩色して、土地の高さをあらわす地図を作成することができる。		・学校の周りの様子について、絵記号を使った地図を作成することができる。 Q	・学校の周りの商店について、シールを使って訪問客の多さをあらわした地図を作成することができる。	・家から学校までの道について、略地図を作成することができる。 テ
	2	・北が上でない地図に、方位記号を入れることができる。	・地図に、記号の説明(凡例)をつけることができる。 Q	・実際の距離を意識して、学校の周りの様子を描くことができる。			・自分たちの市の様子について、地図記号を使った地図を作成することができる。 地	・生産物の出荷先や商店の商品の仕入れ先など他地域とのつながりを、位置や方位に留意して白地図にまとめることができる。	・示したい範囲を、1枚の紙におさまるように全体を見渡してから、地図を作成することができる。
	3		・移動するものは、記号化できないことを知る。					・地域のガイドマップを作成することができる。	・示したいものの他に、目印になるものを記入して、わかりやすく略地図を作成することができる。
	4		・地図に建物を描く場合は、建物の役割に応じた地図記号を使うとわかりやすいことを知る。 地 p.13①					・校内(まち)の消防設備マップを作成することができる。	
	5		・範囲が狭いものは、点の記号で示すとわかりやすいことを知る。					・必要な情報を記入して安全マップを作成することができる。 地 Q p.102	
	6		・長く連なるものは、線の記号で示すとわかりやすいことを知る。					・地域の安全を守る施設の位置や、関係機関相互の協力関係を、白地図にまとめることができる。	
	7		・広がりをもつものは、面の記号で示すとわかりやすいことを知る。 地 p.15①						
	8		・土地の使われ方や土地の様子を、色で塗り分けてわかりやすく描くことができる。						
	9		・名称を伝えたいものは、記号に文字を添えるとよいことを知る。						
	10		・重要なものは、目立つ表現にすることができる。						
	11		・目立つ表現には、大きく示す、太く示す、目立つ色で示すなどがあることを知る。						

マトリクス表 A

地図から習得できる「社会的事象等について調べまとめる技能」  
**(3) 情報をまとめる技能《作図・描図》**

地 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」 マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ！」をさす。  
 Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

ア. 地図の要素別

イ. 図の種類別

発達段階	番号	<A 方位>	<B 記号>	<C 縮尺>	<D 高さ>	<E 図法>	<I. 一般図> 地域の全体像をあらわした地図	<II. 主題図> テーマがしぼられた地図	<III. 略地図> 伝えたい事柄を大まかに あらわした地図
小学校 3~4年生	1								・シンプルな線を用いて、 自分の市や県の略地図を 作成することができる。
小学校 4年生	1						・トレーシングペーパーを活用して地図 から写し取り、県の白地図を作成する ことができる。 <b>デ</b>	・47都道府県の名称と位置を、日本の白 地図にまとめることができる。 <b>地</b> 指導書、ワークシート	
	2						・地図記号を活用して、土地利用や産業、 交通網など、県の様子をあらわす地図 を作成することができる。		
小学校 5年生	1							・食料生産の様子や、それと貿易・運輸の 関わりを、白地図にまとめることが できる。	
	2							・工業生産の様子や、それと貿易・運輸の 関わりを、白地図にまとめることが できる。	
小学校 5~6年生	1								
小学校 6年生	1							・歴史上のできごとの位置や広がりなど を、白地図にまとめることができる。	



地「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」

マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ T デジタル地図帳 地 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
 \* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
 ★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(1)-1 身近な地域の様子	1	・身近な地域を観察して、特徴的な建物や交通、土地の使われ方を確認し、地図上での位置を捉える。	・身近な地域の特徴を、特徴的な建物や交通、土地の使われ方に着目して地図から捉える。			・地図から読み取った様々な分布や特徴などに基づき、身近な地域の特色を大まかに捉える。
	2	* 身近な地域にある川や森林などの自然を観察し、地図上での位置を捉える。	* 身近な地域の特徴を、川や森林などの自然環境に着目して地図から捉える。	* 川や森林などを人々がどのように活用しているかを観察し、その様子を地図から捉える。		
	3	* 身近な地域にある土地の低いところや高いところを観察し、地図上での位置を捉える。	* 身近な地域の特徴を、土地の高低に着目して地図から捉える。			
	4	* 身近な地域における着目したものや場所などの間の位置関係を地図から捉える。				
(1)-2 市の様子	1	・自分たちの市町村(以下「市」とする)の形や都道府県(以下「県」とする)における位置を地図から捉える。 地 一般図 地				・地図から読み取った様々な分布や特徴などに基づき、市の特色を大まかに捉える。地
	2	★ 市内にある自分と関わりのあるものや場所の位置を地図から捉える。地 一般図 地				
	3	・市と隣接する市町村について、位置や名称、位置関係を地図から捉える。地 p.71~73 地			★ 自分の暮らす市と道路網や交通機関などにより結びついている地域を地図から捉える。 地 p.22マ②, p.24マ④	
	4	・市の地形について、土地の低いところや高いところ、海や川、山などの位置や分布を地図から捉える。地	・市の特徴を、土地の高低や、海や川との位置関係に着目して地図から捉える。地			
	5	・田や畑・森林、住宅や商店・工場などに着目し、市内の土地利用の広がりや分布を地図から捉える。地	・市の特徴を、土地利用の様子に着目して地図から捉える。地	* 田や畑・森林や住宅が多く見られる理由を、土地の高さなどと関連付けて地図から捉える。地	* 商店が交通の便利なところに集まっている理由を、他地域との間のヒトの流れと関連付けて、地図から捉える。地	
	6			* 工場が多く見られる理由を、海や川との位置関係、土地の高さなどと関連付けて地図から捉える。地	* 工場が交通の便利なところに集まっている理由を、他地域との間のモノの流れと関連付けて、地図から捉える。地	
	7	・市内の道路や鉄道などの位置や名称、交通の広がりを地図から捉える。地	・市の特徴を、交通の広がりや分布に着目して地図から捉える。地	・道路や交通機関が集まっている理由を、海や川との位置関係、土地の高さなどと関連付けて地図から捉える。地	・道路や交通機関が集まる場所が見られる理由を、市内や他地域との間のヒトやモノの流れと関連付けて、地図から捉える。地	
	8	・市において、着目したものや場所などの間の位置関係を地図から捉える。地				
	9	★ 自分の暮らす市とつながりのある地域や国の位置や名称を地図から捉える。地 一般図				
	10	・市内の公共施設の位置や名称、分布を地図から捉える。地			・公共施設が交通の便利なところに集まっている理由を、市内のヒトの流れと関連付けて、地図から捉える。地	
	11	・市に古くから残る建造物の位置や名称を地図から捉える。地	・市の特徴を、古くから残る建造物の分布に着目して地図から捉える。地			

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ D デジタル地図帳 地 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
 \* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
 ★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>	
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。	
(2)-1 地域の生産の仕事	1	・取り上げた農産物や工業製品の市内における産地の位置や分布を地図から捉える。地		★・取り上げた農産物や工業製品の生産が市内でさかんな理由を、自然環境（土地の高さや海や川との位置関係など）と関連付けて地図から捉える。地	＊・取り上げた農産物や工業製品の生産が市内でさかんな理由を、国内外の他地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。地 一般図	★・地図から読み取った位置や分布、関連などに基づき、生産の仕事から見た市の特色を総合的に捉える。地	
	2	＊・取り上げた農産物の出荷先の位置や分布を地図から捉える。地 一般図					
	3	＊・取り上げた林産物や水産物の市内における産地や出荷先の位置や分布を地図から捉える。地					
	4	＊・取り上げた工業製品の原料の産地や製品の出荷先の位置や分布を地図から捉える。地 一般図					
	5	＊・取り上げた工業製品を生産する工場働く人が、通勤してくる場所の位置や分布を地図から捉える。地					
(2)-2 地域の販売の仕事	1	・家族などがよく利用する商店の位置を、シールを貼って作った地図から捉える。地				★・地図から読み取った位置や分布、関連などに基づき、販売の仕事から見た市の特色を総合的に捉える。地	
	2	・取り上げた商店で売られている商品の産地の位置を地図から捉え、外国の場合はあわせて国旗も確認する。地 一般図, p.130~132			★・市内の商店で様々な商品が売られている理由を、国内の他地域や外国との結びつきと関連付けて地図から捉える。地 一般図		
	3	・取り上げた商店に来店した人がどこからきているのか、その分布を地図から捉える。地			★・市内の商店が交通の便利などにある理由を、他地域との間のヒトの流れと関連付けて、地図から捉える。地 一般図		
(3) 地域の安全を守る働き	1	・学校内の消防施設や市内の消防署、警察署の位置を、地図から捉える。地			・市で火災や事故が発生した際、周辺の市町村の消防署や警察署と連携・協力しながら対応していることを、地図から捉える。		
	2	★・身近な地域で危険が予想されるところの位置や分布を安全マップから捉える。					
(4) 市の様子の移り変わり	1	・それぞれの時代の市の範囲を昔の地図から捉える。地				・昔と現在の地図を比較して、地形や土地利用、交通網、行政区分などの変化に着目し、それぞれの時代の市の特色や移り変わりの様子を捉える。地	
	2	・それぞれの時代の市の交通の広がりや分布、公共施設の位置を、昔の地図から捉える。地					
	3	・それぞれの時代の市の土地利用の広がりや分布、人口の分布を、昔の地図から捉える。地		★・市の昔の地図を用いて、その時代に見られた土地利用や人口分布の理由を、自然環境と関連付けて捉える。地	★・市の昔の地図を用いて、その時代に見られた土地利用や人口分布の理由を、他地域との間のヒトやモノの流れと関連付けて捉える。		



マトリクス表 B

【小学校4年生】

地図から習得できる「地理的な見方・考え方」

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ    デ デジタル地図帳    地域 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
 \* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
 ★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(1) 都道府県の様子	1	・自分たちの都道府県(以下「県」とする)の形や日本における位置を地図から捉える。地 一般図				
	2	・県と隣接する都道府県について、位置や名称、位置関係を地図から捉える。地 一般図			★・県と道路網や交通機関などにより結びついている地域を地図から捉える。地 一般図	
	3	・県内の地形(主な山地や平地、半島、川、湖や沼、海など)の位置や広がりを地図から捉える。地 Q 一般図	・県の特徴を、地形に着目して地図から捉える。地 Q 一般図			
	4	・県内の土地利用の広がりや、主要な産業、特色ある産業の分布を地図から捉える。地 Q p.36マ <sup>20</sup>	・県の特徴を、土地利用の様子やさかんな産業に着目して地図から捉える。地 Q 一般図	★・県内の土地利用の広がりや主要な産業や特色ある産業が見られる理由を、地形と関連付けて地図から捉える。地 デ p.71~73, 一般図	★・県内の主な産業や特色ある産業がさかんな理由を、県内外の間のヒトやモノの流れと関連付けて地図から捉える。地 デ 一般図	
	5		*・県の特徴を、気候に着目して地図から捉える。地 p.97~98 T~4	*・県内の主な土地利用やさかんな産業が多く見られる理由を、気候と関連付けて地図から捉える。地 p.96 T		・地図から読み取った分布や特徴、関連などを総合して、県の地理的環境の概要を捉える。地 デ 一般図
	6	・県内の道路や鉄道、空港などの位置や名称、交通網の広がりを地図から捉える。地 Q 一般図	・県の特徴を交通網の広がりに着目して地図から捉える。地 Q デ 一般図	★・県内の交通網の分布の理由を、地形と関連付けて地図から捉える。地 デ 一般図	★・交通網が集まる地域が見られる理由を、県内の人口分布や県内外の間のヒトやモノの流れと関連付けて地図から捉える。地 デ 一般図	
	7	・県内の主な都市(県庁所在地、人口の多い市、交通や産業の中心となる市など)の位置や名称を地図から捉える。地 Q p.40マ <sup>25</sup>	・県の特徴を、主な都市の位置や分布に着目して地図から捉える。地 Q 一般図	★・県内の主要な都市がその場所に位置している理由を、地形と関連付けて地図から捉える。地 デ 一般図	★・県内の主な都市が交通や産業の中心となっている理由を、県内外の間のヒトやモノの流れと関連付けて地図から捉える。地 デ 一般図	
	8	・県において、着目したものや場所などの間の位置関係を地図から捉える。地 Q 一般図				
	9	・47都道府県の位置と名称を地図から捉える。地 Q デ p.4発見しよう, p.128マ <sup>98 99</sup>	★・47都道府県それぞれの特徴を、形や地形の特色、特産物や特徴的なもの(観光名所やまつりなど)に着目して地図から捉える。地 Q デ p.4発見しよう, p.21~30, p.128マ <sup>98 99</sup>			
(2)-1 人々の健康を支える事業	1	*・学校内の水に関わる施設の位置を地図から捉える。		*・暮らしに欠かせない水の供給を、水を貯える自然の働きと関連付けて地図から捉える。地 p.49~50, p.71~73		
	2	・自分の暮らす市に水、電気、ガスなどを供給する施設(水源林・ダム・浄水場、発電所など)の位置や分布、供給されるルートなどを地図から捉える。地 p.49~50, p.71~73		*・水を供給する施設の位置を、川の流域や土地の高さと関連付けて地図から捉える。地 p.49~50, p.71~73	・周辺の市町村が、水・電気・ガスの供給に関して、連携・協力して対応していることを、地図から捉える。地 p.49~50, p.71~73	
(2)-2 人々の生活環境を支える事業	1	*・学校内のごみに関わる施設の位置を地図から捉える。				
	2	・自分の暮らす市から出る廃棄物の処理・再利用施設の位置や担当する範囲、処理後のゆくえなどを、地図から捉える。		*・下水を処理する施設の位置を、川の流域や土地の高さと関連付けて地図から捉える。	・周辺の市町村が廃棄物の処理に関して連携・協力して対応していることを、地図から捉える。	



地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マ は地図帳中の「地図マスターへの道」、ト は「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

次の印を付したものは、必履修ではない項目。

\* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。

★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(3) 自然災害から 人々を守る活動	1	・県で過去に自然災害(地震、津波、風水害、火山災害、雪害など)が発生した場所の位置や被害を受けた地域の広がりを、地図から捉える。 地 p.99~100		・地域の自然災害の発生の原因や防災対策を、自然環境と関連付けて地図から捉える。 地 p.99~100, p.101~102	・自分が暮らす地域で自然災害が発生した際に、国や県、周辺の市町村と連携・協力して対応していることを、地図から捉える。 地 p.49~50, p.71~73	★・地図から読み取った位置や分布、特徴、関連などに基づき、自然災害の発生や防災対策の様子から見た市や県の特徴を総合的に捉える。
	2	・地域の防災施設や避難施設の位置をハザードマップなどの地図から捉える。 地 p.49~50, p.51~52, p.67~68, p.71~73		★・自然災害が発生した際の避難や救助方法を、地形と関連付けて地図から捉える。 地 p.102防災マップづくり	★・大規模自然災害が発生した際は、全国各地の自治体から派遣された人々も復旧活動に参加していることを、地図から捉える。	
	3	★・自然災害が発生した際に危険な箇所の位置や分布を、ハザードマップなどの地図から捉える。地 p.102マ②	★・自分の暮らす地域の特徴を、発生が想定されている自然災害に着目して、ハザードマップなどの地図から捉える。地 p.102マ①			
(4) 県内の伝統や 文化、先人の働 き	1	・県内の古くから伝わる年中行事や文化財の位置を地図から捉える。 地 Q p.28マ⑧	・自分が暮らす県の特徴を、伝統や文化に着目して地図から捉える。 地 Q 一般図		★・文化財や年中行事の由来を、他地域や外国との結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 デ 一般図	
	2	★・開発、教育、医療、文化、産業などの面で地域の発展や技術の開発に尽くした先人による功績に関連するものや場所の位置や分布を地図から捉える。Q		*・用水路の開削や堤防の改修、農地の開拓などに関する先人の功績を、地形と関連付けて地図から捉える。地 p.69~70, p.71~73		
	3			*・産業の発展に尽くした先人の功績を、自然環境と関連付けて地図から捉える。		
(5) 県内の特色ある 地域の様子	1	・県内で伝統的な技術を生かした地場産業がさかんな地域の位置や分布を地図から捉える。地 Q 一般図	★・県内の特色ある地域の特徴を、地場産業を生かしたまちづくりや観光に着目して地図から捉える。 地 Q 一般図	*・地場産業がさかんな理由を、地域の自然環境(地形や気候など)と関連付けて地図から捉える。地 デ p.95~98	★・地場産業がさかんな理由を、国内外の他地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 デ 一般図	★・各地域における地図から読み取った分布や特徴、関連などに基づき、県の特徴を総合的に捉える。デ
	2	・県内で国際交流に取り組んでいる地域の位置や分布を地図から捉える。	★・県内の特色ある地域の特徴を、国際交流を生かしたまちづくりや観光に着目して地図から捉える。			
	3	・市や県と姉妹都市や友好都市の提携をしている外国の都市を調べてその位置を地図から捉え、あわせて国旗も確認する。地 一般図	★・姉妹都市(友好都市)の特徴を、市や県との共通点に着目して地図から捉える。地 一般図			
	4	・県内で地域の資源(自然や伝統的な文化)を保護・活用している地域の位置や分布を地図から捉える。 地 p.30マ⑩	★・県内の特色ある地域の特徴を、地域の資源(自然や伝統的な文化)の保護や活用に着目して地図から捉える。地 一般図	*・自然のよさを生かしたまちづくりが行われている理由を、自然環境と関連付けて地図から捉える。		
	5		・県内の特色ある各地域の特徴を、自分が暮らす市との共通点や相違点に着目して地図から捉える。 地 Q 一般図			

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マ は地図帳中の「地図マスターへの道」、ト は「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ D デジタル地図帳 地 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
\* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(1) 我が国の国土の様子	1	・世界の六大陸と三海洋の名称と位置や広がりを地図から捉える。地 p.81~82, p.130~132	★・地球上の大陸と海洋の特徴を、位置関係に着目して地図から捉える。地 p.81~82			
	2	・各大陸にある主な国の位置を地図から捉え、あわせて国旗も確認する。地 p.1~3, p.130~132				
	3	★・主な国の特産物や建物、物語や音楽の舞台の位置を、地図から捉える。地 一般図				
	4	★・共通した国旗の特徴をもつ国の分布を、地図から捉える。地 p.132マ				
	5	・各大陸にある主な国と日本との位置関係を、地図や地球儀から捉える。地 p.1~3	★・日本の位置の特徴を、主な国との位置関係に着目して地図や地球儀から捉える。地 p.1~3			
	6	・日本の地球上の位置（北半球にあり、ユーラシア大陸の東方に位置していること）を、地図や地球儀から捉える。地 p.130~132	★・日本の位置の特徴を、地球上の半球や大陸との位置に着目して地図や地球儀から捉える。地 p.130~132			
	7	・日本の絶対的な位置を、緯度経度を参照しながら、地図や地球儀から捉える。地 p.31~32, p.45マ	★・日本の位置の特徴を、緯度と経度に着目して地図や地球儀から捉える。地 p.130~132			
	8	・日本を構成する主な島の名称と位置を、地図から捉える。地 p.31~32	★・日本の国土の特徴を、海洋に囲まれ、多数の島から構成されていることに着目して地図から捉える。地 Q p.31~32			
	9	・日本の領土・領海や排他的経済水域の範囲、東西南北端の島の位置を、地図から捉える。地 p.31マ	★・日本の国土の特徴を、領土・領海や排他的経済水域の範囲、東西南北端に着目して地図から捉える。地 p.31~32			
	10	・日本の主な山地や山脈、平野、川や湖、島や半島などの位置や分布を地図から捉える。地 p.95, マ	★・日本の国土の特徴を、地形の分布に着目して地図から捉える。地 p.95~96			
	11	・日本における夏と冬による気温や降水量の分布の違いを地図から捉える。地 p.98マ	★・日本の国土の特徴を、季節による気候の変化に着目して地図から捉える。地 Q p.97~98			
	12	・日本における気温や降水量からみて類似した地域の分布を、地図から捉える。	★・日本の国土の特徴を、気候の地域差（気温は南北、降水量は太平洋側と日本海側など）に着目して地図から捉える。地 p.98マ			
	13	★・日本の台風の進路の分布を地図から捉える。地 p.100マ				
	14	・高い土地と低い土地、あたたかい土地と寒い土地など、地形や気候に特色がある土地の位置やさかんな産業の分布を、地図から捉える。地 p.60マ, p.96			・自然環境に特色がある地域でさかんな産業を、自然環境と関連付けて地図から捉える。地 Q D p.33マ, p.60マ, p.78マ, p.96	
(2) 我が国の農業や水産業における食料生産	1	・日本における主な食料の生産地の位置や分布を地図から捉える。地 p.80マ, p.103	・日本の国土の特徴を、食料生産(米、野菜、果物、畜産物、水産物など)の分布に着目して地図から捉える。地 p.74マ, p.103~104			
	2	・日本における米の主な生産地の位置や分布を地図から捉える。地 p.36マ, p.103		・着目した地域で稲作がさかんな理由を、自然環境と関連付けて地図から捉える。地 D p.103マ	★・着目した地域で稲作がさかんな理由を、国内外の他地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。地 一般図	・地図から読み取った生産地の分布や特徴、関連などに基づき、食料生産から見た日本の特色を総合的に捉える。地 p.103~104
	3	*・日本における野菜、果物、畜産物の主な生産地の位置や分布を地図から捉える。地 p.42マ, p.45マ, p.57マ, p.103マ		*・着目した地域で野菜、果物、畜産物の生産がさかんな理由を、自然環境と関連付けて地図から捉える。地 D p.78マ	・鮮度を保って生産地から消費地へ届ける工夫を、高速道路網や航空輸送などによる国内外の他地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。地 一般図	



マトリクス表 B

【小学校5年生】

地図から習得できる「地理的な見方・考え方」

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マ は地図帳中の「地図マスターへの道」、ト は「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ デ デジタル地図帳 地 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
 \* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
 ★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(2) 我が国の農業や水産業における食料生産	4	* ・日本における水あげ量が多い港や漁場の位置を地図から捉える。 地 p.103マ <sup>84</sup>		* ・着目した地域で水産物の水あげ量が多い理由を、海流などの自然環境と関連付けて地図から捉える。地 p.104 <sup>3</sup>		・地図から読み取った生産地の分布や特徴、関連などに基づき、食料生産から見た日本の特色を総合的に捉える。 地 p.103~104
	5	* ・世界の200海里水域の範囲を地図から捉える。				
	6			★ ・食料生産を持続的に続けるための環境保全の取り組みを、自然環境と関連付けて捉える。 地 p.74マ <sup>90</sup>	* ・川の上流部の森林保全の工夫を、漁業がさかんな下流の地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。地 p.74マ <sup>90</sup>	
	7			★ ・新しい技術の開発や工夫によって、これまで栽培が難しかった自然環境の地域へも生産が広がったことを、地図から捉える。		
	8	・日本の主な農産物の輸入相手国の位置を、地図から捉える。 地 デ p.108 <sup>2</sup> , p.114 <sup>2</sup>			・日本の食料に関する貿易の特色や変化などを、他国との結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 デ p.108 <sup>2</sup> , p.114 <sup>2</sup>	
(3) 我が国の工業生産	1	・日本における工業がさかんな地域の位置や分布を地図から捉える。 地 p.36マ <sup>22</sup> , p.61マ <sup>40</sup> , p.105~106		・工業がさかんな地域の位置や分布を自然環境(海、川、平野など)と関連付けて地図から捉える。 地 デ 一般図	・工業がさかんな地域の位置や分布を、交通網や大都市の位置と関連付けて地図から捉える。 地 デ p.59~60, p.105~106	・地図から読み取った工業がさかんな地域の位置や分布、特徴、関連などに基づき、工業生産から見た日本の特色を総合的に捉える。 地 p.61, p.105~106
	2	・取り上げた工業(金属、機械、化学、食品工業)がさかんな地域の位置や分布を地図から捉える。 地 p.105~106, p.106マ <sup>87</sup> <sup>88</sup>	・日本の国土の特徴を、工業生産(金属、機械、化学、食品工業など)の分布に着目して地図から捉える。 地 p.61, p.105~106	★ ・工業生産における環境保全の取り組みを自然環境と関連付けて地図から捉える。Q	* ・自動車工場の生産の工夫を、関連工場との位置と関連付けて地図から捉える。地 デ p.61マ <sup>40</sup>	
	3	★ ・日本企業の主な海外工場の位置や分布を地図で捉える。				
	4	・日本の工業製品の輸送に関わる交通網の広がりを地図から捉える。 地 p.105~106			・工業の原料を確保したり製品を出荷したりするための運輸の工夫を、他地域との結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 デ p.61マ <sup>41</sup> , p.66マ <sup>45</sup> , p.84マ <sup>58</sup> , p.86マ <sup>61</sup>	
	5	・日本の主な輸入相手国や輸出相手国の位置や分布を地図から捉える。 地 デ p.107 <sup>1</sup>			・工業の原料を確保したり製品を出荷したりするための工夫や経路を、外国との貿易の結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 デ p.108マ <sup>89</sup>	
(4) 我が国の産業と情報の関わり	1	★ ・放送や新聞の中にある天気予報や交通情報などの地図から、示された情報の位置や分布を捉える。				
	2				★ ・販売、運輸、観光、医療、福祉などでインターネットを利用して地域を超えた協力が行われていることを、地図から捉える。	
(5) 我が国の国土の自然環境	1	・日本で過去におきた自然災害(地震、津波、風水害、火山災害、雪害など)の位置や分布を地図から捉える。 地 p.99~100	・日本の国土の特徴を過去に大規模な自然災害が発生した場所の位置や分布に着目して地図から捉える。 地 p.99~100	・自然災害が発生した理由を、地形や気候などの自然条件と関連付けて地図から捉える。 地 p.99~100		★ ・地図から読み取った位置や分布、特徴、関連などに基づき、日本の自然災害の特色を総合的に捉える。 地 p.99~100
	2			★ ・地震や火山災害が起こる場所を、プレートの境界と関連付けて地図から捉える。地 p.100マ <sup>79</sup>		
	3	・日本で今後起こる被害の想定分布や、防災や減災のための施設や整備の位置を、ハザードマップなどから捉える。地 p.49~50, p.71~73, p.101 <sup>3</sup> , p.102 <sup>4</sup>		・自然災害を防ぐために国や県が行っている対策を、自然環境と関連付けて地図から捉える。 地 p.101~102	★ ・大規模自然災害が発生した際は、全国各地や世界各国から支援に来た人々も復旧活動に参加していることを、地図から捉える。	
	4	・日本の森林の分布から、国土に占める面積の割合が高いことを、地図から捉える。	・日本の国土の特徴を、森林の分布に着目して地図から捉える。	★ ・環境保全の取り組みを、自然環境と関連付けて地図から捉える。地 p.127マ <sup>97</sup>		
	5	・日本で過去に大気汚染、水質汚濁などの公害が発生した地域の位置や分布を地図から捉える。				



地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

QRコンテンツ デジタル地図帳 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。  
 \* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。  
 ★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(1) 我が国の政治の働き	1	・国や地方公共団体が社会保障、自然災害からの復興、地域の開発や活性化のために行った取り組みの位置や分布を、地図から捉える。地 p.102 <sup>4</sup>				
	2	★・国会議事堂や最高裁判所、内閣などの主な国の機関の位置を、地図から捉える。地 p.67~68				
(2) 我が国の歴史上の主な事象	1	・日本の歴史上のできごとや文化財の位置や分布を、地図から捉える。地 p.70マ <sup>46</sup> , p.109 <sup>1</sup> , p.110 <sup>3</sup> , マ <sup>9</sup> , p.127, マ <sup>96</sup> , 一般図		・歴史上のできごと(鎌倉幕府を置く位置など)の発生や分布の理由を、自然環境(山に囲まれた地形など)と関連付けて、地図から捉える。地 QR p.109 <sup>2</sup> , p.110マ <sup>92</sup>		
	2	・日本の文化の広がり(前方後円墳や国分寺など)や政治の中心地へ輸送される特産物の分布を、地図から捉える。地 p.55~56			・中心地から地方への文化の広がり、地方から中心地へのモノの輸送、交通網整備を、中心勢力の支配の広がりに関連付けて地図から捉える。地 p.55~56	
	3	・日本の歴史上のできごと(守護・地頭や戦国大名、親藩・譜代・外様の配置、参勤交代など)と政治の中心地との位置関係を、地図から捉える。地 p.56マ <sup>34</sup> <sup>35</sup>			・歴史上のできごと(武士による政治の始まり、群雄割拠、政治の安定など)を、政治の中心地と地方の結びつきと関連付けて地図から捉える。地 p.55~56	★・時代の異なる地図を比較して、歴史的な事物の位置や分布、出来事やつながりの変遷などから見た日本の特色を総合的に捉える。地 p.109~110
	4	・日本の歴史上のできごとの経路(遣隋使、正倉院の宝物、出島を通した外国交易など)を、地図から捉える。地 p.85~86			・日本の文化の特色や変化(大陸文化の摂取、幕府の鎖国政策など)を、外国との結びつきや世界の動きと関連付けて地図から捉える。地 p.85~86	
	5	・外国と関わる日本の歴史上のできごと(元寇、キリスト教の布教、黒船の来航)を、世界に視点を広げた地図から捉える。地 p.85~86			・歴史上のできごとの要因を、世界の動き(モンゴルの勢力拡大、ヨーロッパやアメリカの海外進出)と関連付けて地図から捉える。地 p.85~86	
	6	・外国との戦争(日清・日露・日中戦争、第二次世界大戦など)に関わる歴史上のできごとの位置(戦場や経路)や分布を、地図から捉える。地 p.33 <sup>2</sup> , p.43 <sup>2</sup>			・戦争の被害を受けた場所(戦場、空襲を受けた都市など)を、戦争時の世界の動きと関連付けて地図から捉える。地 p.33 <sup>2</sup> , p.43 <sup>2</sup>	
	7	・伊能忠敬が作成した地図の正確さを、位置や形に着目して、現在の地図と比較して捉える。				

地 『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』

マは地図帳中の「地図マスターへの道」、トは「トライ!」をさす。

Q QRコンテンツ デジタル地図帳 地域版地図

次の印を付したものは、必修ではない項目。

\* 選択する地域・事例によって、扱わない場合があるもの。

★ 学習指導要領には記されていないが、発展的な扱いができるもの。

概念 学習内容	番号	<① 位置や分布>	<② 場所>	<③ 人間と自然環境との相互依存関係>	<④ 空間的相互依存作用>	<⑤ 地域>
		・事物の位置や広がり、周囲の状況などを、地図から捉えることができる。	・着目する場所の特徴を、地図から捉えることができる。	・地図から自然環境の特徴を読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から複数の場所の結びつきを読み取り、人々の活動の様子と関連付けて捉えることができる。	・地図から読み取って見出した特色をもとに、着目する地域の全体像を捉えることができる。
(3) グローバル化する世界と日本の役割	1	・経済や文化などの面で日本とつながりが深い国の位置を、地図から捉え、あわせて国旗も確認する。 地 p.86マ <sup>99</sup> ⑩, p.88マ <sup>⑩</sup> ⑬, p.130~132	・日本とつながりの深い国の特徴を、国旗や特産物、建物、物語や音楽の舞台などに着目して地図から捉える。 地 Q p.84マ <sup>⑦</sup> , p.90マ <sup>⑥</sup> , p.91マ <sup>⑧</sup> , p.93マ <sup>⑦</sup> ⑳, p.93~94 p.132マ <sup>⑩</sup>	・日本とつながりが深い国の人々の暮らしや産業を、気候や地形の特色と関連付けて地図から捉える。地 p.83~84, 一般図	・日本とつながりが深い国の人々の暮らしや産業を、日本や他の国との結びつきと関連付けて地図から捉える。 地 p.107~108, 一般図	★・地図から読み取った分布や特徴などに基づき、日本とつながりの深い国々の特色を総合的に捉える。 地 p.93~94, 一般図
	2	・日本とつながりが深い国と日本の位置関係を、地図や地球儀から捉える。地 p.90マ <sup>⑦</sup>				
	3	★・国際的な交流のための催し(オリンピック・パラリンピックなど)が開催された都市の位置を、地図から捉える。地 p.115マ <sup>95</sup>				
	4	★・地球規模の課題(環境問題など)や世界の国々が抱えている課題(紛争など)が発生している地域の位置や分布を、地図から捉える。地 p.108マ <sup>90</sup>			★・地図から読み取った分布や特徴などに基づき、地球規模の課題の解決に向けて世界の国々が協力して取り組んでいることを捉える。 地 p.125~126	
	5	★・国際連合の加盟国や課題解決に向けて連携・協力している国の位置や分布を、地図から捉える。 地 p.88世界のSDGs				
	6	・日本が国際協力や援助を行っている国の位置や分布を、地図から捉える。地 Q デ p.84世界のSDGs, 統計資料				